

表現運動：リズムダンス

4年「楽しい！元気！うきうきダンス！」

～ロックやサンバのリズムに乗って～

1. 学習のねらい

- (1) リズムの特徴をとらえて、全身で楽しく踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 (態度)
- (3) 自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 (思考・判断)

2. 指導にあたって

(1) 領域から見た運動の特性

表現運動は、自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没頭してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

中学年の「リズムダンス」は、軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って仲間とかかわって踊るのが楽しい運動で、自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習で進められるのが特徴である。

本単元の「楽しい！元気！うきうきダンス！～ロックやサンバのリズムに乗って～」は、友達と一緒にリズムに乗って全身を使って体を動かす題材である。リズムの特徴をつかみ、いろいろな動きをかけ合わせていくので、心と体に一体感ができ、リズムに乗りにくい児童も安心して取り組むことができる。また、軽快なロックやサンバなどの曲に合わせて様々な動きを表現したり、曲に合わせてグループで動きを考えて発表したりする教材である。ペアを組んだりたくさんの友達とかかわったりすることで、ダンスの楽しさを知り、自分でダンスの仕方を考える力や踊り続ける力がついていく運動である。

(2) 学習指導と評価の在り方

単元の「はじめ」の段階では、「楽しい！元気！うきうきダンス！～ロックやサンバのリズムに乗って～」というテーマからいろいろなイメージをもつことができるように、オリエンテーションを行う。学習のねらいや方法を知り、学習の見通しをもてるようにする。いろいろな踊りを紹介し、一緒に踊る楽しさや、みんなで踊る一体感を味わえるようにする。また、よい動きとはどのようなものなのかを話し合い、よい動きに対するイメージと共通理解を図る。

「なか」の段階では、テーマを、前半「軽快なロック」、後半「サンバ」に分ける。単元全体を通して、ロックやサンバのリズムに乗って踊る活動を十分に行いたい。毎時間のはじめでは、ロックやサンバの曲に合わせて、心と体をほぐしていく。指導者や友達とともに、リズムの特徴をとらえながら複数の曲で踊る。指導者や友達の動きの真似をしたり、円になったりハイタッチをしたりして、変化を付けて踊り、リズムダンスのおもしろさを豊かに味わえるようにしたい。「活動①」では、ペアで即興的に踊る。友達と向かい合わせになって、一人が踊っている動きを、もう片方が真似る「ミラーダンス」を行う。

「活動②」では、3～4人のグループになって、リズムの特徴をとらえて踊る。グループのみんなでアイデアを出し合いながら踊らせた。また、グループ間でダンスを見せ合い、よかった動きや、取り入れたい動きを見付けられるようにしたい。

「まとめ」の段階では、今まで学習してきたことを生かして「ダンス交流会」を行う。リズムの特徴や動きのポイント、友達と自由に踊る楽しさについてまとめていきたい。

(3) リズムダンスの観点別評価規準

技能	態度	思考・判断
<ul style="list-style-type: none"> 軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って全身で弾んで踊ったり、友達と自由にかかわり合ったりして楽しく踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の工夫ができる。

(4) 「楽しい！元気！うきうきダンス！～ロックやサンバのリズムに乗って～」の観点別評価規準

技能	態度	思考・判断
<ul style="list-style-type: none"> リズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができる。 動きにアクセントやリズムの変化を付けて、踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムダンスに進んで取り組むことができる。 決まりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をすることができる。 活動の場の安全を確かめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達のよい動きを見付け、真似をしたり、自分の動きを工夫したりすることができる。 動きのポイントを知り、楽しく踊るための自分に合った課題を見付けることができる。 よい動きを知り、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れることができる。

3. 学習指導・評価計画

過程 時	はじめ 1	な か			まとめ 6	
		2	3	4	⑤ (本時)	
学習のねらいと活動	<p>学習のイメージを広げることができるようにする。</p> <p>1. 学習のねらいや方法を知り、学習の見通しをもつ。 2. 学習カードの使い方を知るとともに単元全体の流れを知る。 3. よい動きのイメージについて話し合う。 4. イメージするものを即興的に踊ってみる。</p>	<p>軽快なロック</p> <p>軽快なロックのリズムに乗って、友達と関わり合いながら元気に踊る。</p> <p>1. メドレーダンスタイムをする。 2. めあての確認、学習の進め方を知る。 3. 2人組で、即興的に踊る。 4. グループで踊る。 5. ペアグループと見せ合いをする。 6. 学習のまとめ・整理体操をする。</p>		<p>サンバ</p> <p>サンバのリズムに乗って、友達と関わり合いながら元気に踊る。</p> <p>1. メドレーダンスタイムをする。 2. めあての確認、学習の進め方を知る。 3. 2人組で、即興的に踊る。 4. グループで踊る。 5. ペアグループと見せ合いをする。 6. 学習のまとめ・整理体操をする。</p>		<p>学習のまとめとして、発表会を楽しむ。</p> <p>1. メドレーダンスタイムをする。 2. めあての確認、学習の進め方を知る。 3. 発表会をする。 4. 友達やグループのよかった所を発表する。 5. 学習のまとめ・整理体操をする。</p>
	指導者の働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなリズムに乗って踊ることを伝え、学習への意欲をもてるようにする。 ○ どう動いたらよいか分からない場合は、友達の真似をしてもよいことを知らせる。 ○ 恥ずかしがらずに思いきり体を動かすように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メドレーダンスタイムでは、指導者が進んで踊り、児童の心と体をほぐすようにする。 ○ 児童に身に付けさせたい動きや、基本的な動きをリズムに乗って踊りながら、紹介する。 ○ 2人で踊る前に、自分がしたい動きをいくつか考えるように助言する。 ○ 友達のよい動きを知り、動きを増やしていけるようにする。 ○ 表情や指先まで元気に踊るように助言する。 ○ よい動き（イメージにふさわしい動き、個性的な動き、表情や手足の先まで気持ちが入っている動きなど）をしている児童を紹介し、賞賛する。 ○ 教え合ったり、励まし合ったりしながら、動きを工夫できるようにする。 ○ 友達のよい動きを見付け、伝え合うことができるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの学習を思い出して踊るように助言する。 ○ 友達のよい所を見付けることができるように助言する。 ○ 自分の動きの高まりに気付いたり、これからの課題について考えたりして感想を書くように助言する。
具体的な評価規準の一例	【技能】		<p>リズムの特徴をとらえて、全身を使って踊ることができる。</p>		<p>リズムに乗って、全身を使って踊ることができる。</p>	<p>中心になる動きに「はじめとおわり」を付けた動きにして感じを込めて踊ることができる。</p>
	【態度】	<p>学習のねらいや進め方を理解しようとしている。</p>	<p>友達と楽しくかかわり合いながら踊ろうとしている。</p>	<p>友達と気持ちを合わせて練習や発表をしようとしている。</p>		
	【思考・判断】	<p>リズムの特徴やよい動きについて知り、友達のよい動きを見付けている。</p>	<p>課題を解決するために練習や発表の仕方を工夫している。</p>		<p>友達のよい動きを見付けて、自分の動きに取り入れている。</p>	

4. 本時の学習 (5 / 6)

(1) 目標

◎リズムに乗って、全身を使って踊ることができるようにする。 (技能)

○グループで楽しく踊り、互いのよさを認め合いながら練習や発表ができるようにする。 (態度)

◎友達のよい動きを見付け、自分やグループの踊りに取り入れることができる。 (思考・判断)

(2) 展開

学習活動	指導者の働きかけ	評価
<p>1. ダンスタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メドレーダンス ・リズムに乗って体全体で踊る。 ・友達と一緒に踊る。 ・リズムを感じながら自由に踊る。 <p>2. 学習内容を確認する。</p> <p>3. ミラーダンスをする。(活動①)</p> <p>4. グループダンスをする。(活動②)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者が進んで踊り、児童の心と体をほぐすようにする。 ○楽しい音楽で気持ちを高めるようにする。 ○指導者の真似をして踊ったり、自分で自由に踊ったりしていろいろな動きができるようにする。 ○音楽をよく聞いて踊っていた児童やリズムの特徴をとらえていた児童をほめるようにする。 ○自分で自由に踊ったり、いろいろな友達と楽しく踊ったりできるようにする。 ○学習のめあてや学習の流れ、動くときに気を付けることを確かめることができるようにする。 ○「ウンタッタ ウンタッタ」の2拍の中にリズムの変化があることを説明する。 ○ミラーダンスで踊った動きを思い出して、グループで踊るようにする。 ○止まらずに続けて踊るように助言する。 ・教え合ったり、励まし合ったりしながら、動きを工夫できるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> リズムに乗って、全身を使って踊ることができる(技) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○友達と楽しくかかわり合いながら踊ろうとしている。(態)

<p>5. みんなに踊りを発表したり、友達の様子を見たりする。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○見せ合う場では、よい点を見つけて合うことができるようにする。 ○恥ずかしがらずに元気に楽しく発表ができるようにする。 ○友達に ICT 機器で録画してもらった映像から自分たちの動きを確かめられるようにする。 ○自分の動きの高まりや、友達のよかった所に気付かせるようにする。 ○次に頑張りたいことや課題を学習カードに記入させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達のよい動きを見付け、自分やグループの踊りに取り入れている。(思)</p> </div>
--	--	--